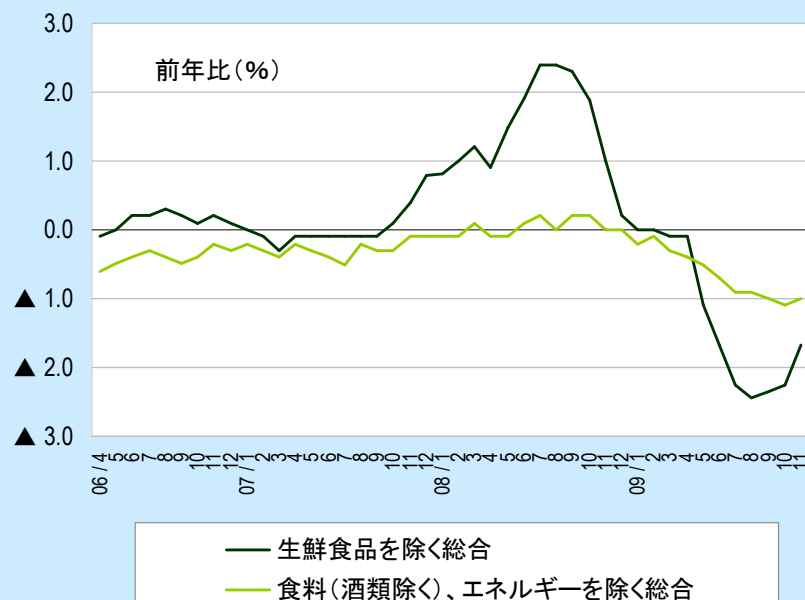


消費者物価指数（09年11月）

MRI Daily Economic Points

December 25, 2009

図表 消費者物価指数



(前年比)	09年7月	8月	9月	10月	11月
生鮮食品除く総合	▲2.2%	▲2.4%	▲2.3%	▲2.2%	▲1.7%
食料、エネルギー除く総合	▲0.9%	▲0.9%	▲1.0%	▲1.1%	▲1.0%

資料:総務省

評価ポイント

今回の結果

- 全国の消費者物価指数(生鮮除く総合)は前年比 ▲1.7%と、先月の同▲2.2%から下落幅が縮小。
- 《縮小要因》 昨年の石油価格高騰の反動から、今年5月以降大幅に下落してきたが、その影響が縮小。石油製品は前年比▲8.4%と前月(▲19.8%)から下落幅を大幅に縮小させた。

基調判断

- 食料・エネルギーを除くCPI(前年比)の低下が継続しており、物価は下落基調。
- 家事用耐久財(冷蔵庫等)、教養娯楽用耐久財(TV、PC等)などで価格下落が続いている。

先行き見通し

- 生鮮除く総合指数で見れば、石油価格高騰の反動からの下落圧力は、徐々に弱まっていくと見込まれる。しかし、需給バランスの悪化による下押し圧力は、幅広い品目に波及しており当面続く可能性が高い。

担当:政策・経済研究センター 対木さおり TEL03-3277-3440